

# 地震一口メモ No. 179

## 地震の揺れから津波を想定する

例えば、海水浴場で地震らしき揺れを感じたとします。もしその地震が海底で起きた大きな地震であれば、津波が発生するかもしれません。では、大きな地震にはどのような揺れの特徴があるのでしょうか。ここでは、その特徴を3つご紹介します。

1つ目は、もちろん揺れの大きさです。体に感じる揺れが大きいと、地震そのものの規模も大きい可能性がありますので、津波を想定して行動しましょう。

2つ目は、揺れている時間の長さです。大きい地震ほど、我々が感じる揺れの継続時間も長くなります。あくまでざっくりとした目安ですが、マグニチュード（地震の規模）と揺れの継続時間の関係は、マグニチュード6では数秒程度、マグニチュード7では10秒程度、マグニチュード8では1分程度、マグニチュード9では3分程度となり、規模が大きくなるにつれて揺れも長時間になります。これらから、揺れが数秒続くときは直ちに海から上がる、10秒続くときは海岸からも離れる、数十秒続くときは高台を目指す、という避難行動を最低ラインとして考えましょう。たとえ揺れの大きさは比較的小さかったとしても、長時間の揺れはどこかで大地震が発生しているサインです。津波を想定して避難行動しましょう。

3つ目は、揺れの周期です。周期とは揺れが1往復するのにかかる時間のことです。一般的に、規模の大きな地震では周期の長い揺れが卓越しやすいと言われています。小刻みな揺れでなく、ゆっくりした揺れ、船に乗っているような揺れを感じた場合は、大規模地震の可能性があるので、すぐに海から避難しましょう。

これらをまとめると、揺れが大きい、揺れている時間が長い、揺れの周期が長い、のどれか一つでも当てはまる場合は、危機感を強めた方が良いといえます。情報収集に時間をかけずに、海から離れ、率先して高台を目指しましょう。また、いざという時のために、普段から避難場所を確認しておくよう心がけましょう。

海辺で強い揺れを感じたら… **海辺から離れ**

長くゆっくりした揺れを感じたら… **より高い安全な場所へ!!**

津波警報等を見聞きしたら…

**解除まで気をつけて**

- ❖ 津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。**津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。**

**注意報でも海中は危険**

- ❖ 津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

**正しい情報入手**

- ❖ テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報入手しましょう。



図 パンフレット「地震と津波」より 気象庁発行